

日高軽種馬協会のたより

HBA

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和4年11月20日

393

第

号

オータムセール 平均価格はオータムセール史上最高に

10月17日～18日、北海道市場でオータムセールが開催された。本年は426頭が上場、329頭が取引となり売却率は77.2%、売上総額は12億9,173万円（以下、すべて税込）、平均価格は392万円、中間価格は330万円だった。（比較については次頁参照）

上場番号1番マロンパンナ2021（新冠・㈱安達牧場）が上場されると400万円のファーストコールから始まり、場内各所から競り上がり白熱した雰囲気を作り出した。最後は957万円で兵庫県馬主会・徳永博氏によって落札となったが、オータムセールへの期待感を持たせるには十分だった。この後も堅調な取引が続くが、上場番号72番エールドクラージュ2021（平取・オークツリーファーム）が登場するとこの日最高の盛り上がりを見せる。父は初年度産駒からフェイトが強烈な印象を与えるレース振りでメイクデビューを快勝するなどJRAファーストシーズンサイアーランキング2位につけ、好調をアピールしているリアルスティール。半姉には阪神牝馬ステークス（GII）など重賞4勝のミスパンテールがいる注目の血統背景。牝馬ながら雄大な馬格を誇りなが

らも父を彷彿とさせる脚の長い見事な馬体は多くの購買者を魅了し、この日の最高落札価格、2日間を通りして牝馬の最高落札価格ともなる1,540万円で吉田勝利氏によって落札となった。初日の成績は、売却総額が6億5,538万円、売却率は80.39%、平均価格は399万円となった。なかでも牝馬の売却率は87.67%を記録し、サマーセールとセプテンバーセールの水準を大きく超えるものとなった。

再申込馬のみで構成される2日目は、止む無くサマーセールを欠場となった馬が主役となり、2頭が最高価格で並んだ。上場番号352番スプリングサンダー2021（静内・(有)グランド牧場）はドゥラメンテを父に持ち、母がJRA5勝に加え3度の重賞入着のある実績もあることながら、半兄には中山金杯（GIII）2着のスカーフェイスや叔父にはスズカマンボがいる超良血馬。200万円のファーストコールが掛かると50万円単位での競り上げが続き、1,760万円でハンマーとなり、山本益臣氏によって落札となった。

（次頁へ続く）



最高落札価格馬：スプリングサンダー2021
静内・(有)グランド牧場



最高落札価格馬：プレシャスヴィガー2021
静内・(有)グランド牧場

上場番号418番プレシャスヴィガー2021（静内・(有)グランド牧場）は2歳戦絶好調でファーストシーズンサイアランキング1位のマインドユアビスケッツの産駒。母は南関東の1000m以下のレースで3勝を挙げた快速馬で、近親には中央交流重賞で好成績をおさめたプレシャスジェムズがいる血統。場内各所からのファーストコールがかかり400万円からスタートすると序盤からビッドの応酬で、本馬も1,760万円でハンマーとなった。本馬を射止めたのは吉岡寛行氏だった。セール終了2日後におこなわれたエーデルワイス賞（JpnⅢ）でマルカラピッドが父マインドユアビスケッツに初の重賞制覇をプレゼントしたばかり。本馬のこれからの期待がかかる。

種牡馬別に見てみると、10頭が上場されたモーニン産駒がすべて取引となり売却率100%を記録し、平均価格も515万円と高水準だった。8頭が上場された1日目の平均価格が545万円だったことを考えると上場適期の判断が功を奏した印

象を受ける。また、9頭上場し7頭が取引となったマジスティックウォリアー産駒は平均価格が691万円と非常に目立った結果となった。取引内容も落札7頭すべてが500万円以上と高いアベレージを残し、ダートで堅実な成績を残す父産駒の傾向とセールの需要が上手く合致した。

古川組合長は「上場適期を考えていただいたおかげで初日の取引に勢いがついたと思います。各地方競馬の補助馬購買に関してもセプテンバーセールまでに買い切れないこともあってオータムセールでも購買いただけました。来年は頭数も金額も増やして買うよと言ってくれる団体もあり、競り上がることに期待しています。オンラインビッドについても浸透して、買い方も慣れてきたと思います。落ちそうなところにオンラインから一声がかかり競り上がるという良い効果もありました。まだシステムは間に合わないが海外の購買者向けのオンラインに改良して、どこにいても参加できるような形になれば良いと思います。」と、振り返った。

【オータムセール 5年間の比較】

	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
平均価格	↗ 3,926,231	↗ 3,646,436	↗ 3,451,890	↓ 3,199,281	↗ 3,479,952
中間価格	↗ 3,300,000	↓ 2,970,000	↗ 3,190,000	↓ 2,750,000	↗ 2,916,000
出場頭数	↓ 426	↓ 457	↗ 466	↓ 432	↗ 704
売却頭数	↓ 329	↓ 348	↗ 365	↓ 320	↓ 505
売却率	↗ 77.23%	↓ 76.15%	↗ 78.33%	↗ 74.07%	↓ 71.73%
売上総額	↗ 1,291,730,000	↗ 1,268,960,000	↗ 1,259,940,000	↓ 1,023,770,000	↗ 1,757,376,000
購買登録者数	↗ 1095 (65)	↗ 1058 (62)	↗ 1,004	↓ 801	↗ 877
購買実数	↗ 258	↓ 242	↗ 243	↓ 223	↓ 294

※ 単位（円、頭、名）、価格は税込、矢印は前年対比
 ※ 令和3年の（）内はオンラインによる登録者数

人事異動のお知らせ

【退職】

在職中は大変お世話になりました

〔10月31日付〕

水口 悠也

診療事業部診療課エクワインメディカル
センター所長 兼 門別診療所所長

【異動】

〔11月1日付〕

前田 昌也（診療事業部部長）

診療事業部診療課門別診療所所長兼務

伊藤 克己（診療事業部診療課茨伏診療所所長）

診療事業部診療課浦河診療所所長兼務

井上 哲（診療事業部診療課静内診療所）

診療事業部診療課エクワインメディカル
センター所長

【採用】

〔11月1日付〕

杉水流 明美

日高軽種馬振興対策推進協議会

ひだか・ホース・フレンズ出向

ショックウェーブ療法について

静内診療所 川越 美琴

2022年4月に入社しました、川越美琴です。よろしくお願いいたします。

今年の4月よりJRAではいくつかの禁止行為が規定されました。そのなかでも「馬の福祉の観点からJRA施設の内外を問わず禁止する行為」として乱刺(笹針)・焼烙処置・ブリストア処置・4歳未満の馬に対するビスホスホネート製剤(ティルドレンなど)の使用が指定されました。そこで、これらの代替療法として行われることが多いショックウェーブ療法について掘り下げたいと思います。

ショックウェーブ療法は当初、人の尿石破碎のための機械として開発されましたが、後に治療領域内にある骨盤の骨密度が増加していることがわかってから、人の整形外科への応用が広まりました。日本では2008年に医療機器として承認されています。馬に対しても今では10年以上の臨床実績があり、次のような症状の治療に効果があるとされています。

- ◎軟部組織の損傷(屈腱炎/繋靭帯炎)
- ◎微細な骨折(骨瘤/管骨骨膜炎)
- ◎慢性跛行(ナビキュラー症候群/変形性関節症)
- ◎背腰部痛(仙腸靭帯炎/棘突起衝突)
- ◎火傷

ショックウェーブ療法では症状の改善につながる体内での反応として、骨と腱の接合部・筋肉

など様々な組織で新しい血管がつくられることがわかってきています。

しかし組織に与える影響は大きく、治療後に痛みが大きく軽減され、馬が体の限界を超えて運動をしてしまうことで事故につながる可能性があります。

そのためJRAでは「事故防止の観点から出走を制限する行為」として、下肢部にショックウェーブ療法を行った後7日間の出走が制限されるようになりました。

このお便りを読む方々の中で、出走直前の禁止行為について心配している方は少ないかもしれませんが、上記疾患は、育成馬・繁殖牝馬にもみられます。上記疾患の診断を受けた馬への治療を検討する際に、選択肢の一つとしてショックウェーブ療法に興味を持っていただけると幸いです。



図:管骨骨膜炎に対するショックウェーブ療法
<https://shec.com.au/services/shockwave/>

北海道市場 1年を振り返って

今年の北海道市場は終息の見えないコロナ禍に加えロシアによるウクライナ侵攻や、原油高、円安といった日本を取り巻く厳しい経済情勢下での開催となったが、5開催計13日間のスケジュールで延べ2,629頭が上場となり、売上総額165億1,573万円（以下、すべて税込）、売却率78.3%、平均価格802万円を記録し、売上総額はレコードを更新した昨年を更に19億7,140万円更新する結果となった。

トレーニングセール／売却率70%超え、Runhappyの牝駒が4,620万円で落札

5月24日（火）、札幌競馬場でおこなわれたトレーニングセールでは、岩手県馬主会による活発な団体購買や、セール前日の公開調教ではラスト1Fを6頭が10秒7でまとめるなど、好仕上がりをアピールした馬も現れ、好内容で駆けた馬には多くの応札が入り価格が引き上げられるなどの好影響もあり活況となった。

結果は、総売上額は7億6,934万円、平均価格は801万円、売却率は5年振りに70%を超える71.6%を記録し、Distinguishable2020（門別・(有)エトルタファーム）が最高落札額となる4,620万円で取引された。

セレクションセール／2日間開催で大台の50億円を突破

7月26日（火）～27日（水）、北海道市場でおこなわれたセレクションセールでは、昨今のセール出身馬の活躍も後押ししてか高額落札馬が続々と誕生した。301頭が上場され2日間開催となったが、上場馬の質も年々凄みを増し、ブラックタイプも馬体も充実したラインナップとなり、6,000万円を超える馬が5頭誕生し売上を支える大きな要因となった。日高で繋養されるシニスターミニスター産駒のディアレストリックスキ2021（静内・(有)服部牧場）と、シルバースター

ト産駒のマルモニバニー（浦河・(有)大柳ファーム）がともに6,820万円で落札となるなど、産地に活気を与える一面も見えた。

結果は、総売上額は53億3,830万円、平均価格は2,029万円、売却率は87.4%となりすべてレコード更新となった。最高落札額となったのは2017年の桜花賞馬レーヌミノルの2番仔、レーヌミノル2021（静内・(有)フジワラファーム）の7,260万円だった。

サマーセール／総売上額70億円、平均価格700万円を突破

8月22日（月）～26日（金）の5日間、北海道市場でおこなわれたサマーセールは実にバラエティに富んだラインナップとなったが、なかでも13頭が上場されすべて落札となったシャンハイポビー産駒は、バンパークロップ2021（静内・(有)グランド牧場）が3,960万円、ポリアフ2021（静内・静内フジカワ牧場）が3,410万円で落札となるなど、平均価格は1,623万円を記録し、昨年の同セールでの平均価格909万円から大幅に評価を上げた。

結果は1,237頭が上場し総売上額は70億2,471万円、平均価格は733万円、売却率は77.4%となり、総売上額が70億円を突破する活況となった。最高落札額となったのはファーゴ2021（静内・岡田スタッド）の4,180万円だった。

セプテンバーセール／80%に迫る売却率、平均価格は500万円を突破

9月20日（火）～22日（木）、北海道市場でセプテンバーセールが開催された。2年振りに3日間開催となった今年は531頭の上場頭数を集めた。デクラレーションオブウォーやマインドユアビスケッツなど、ファーストシーズンサイアーランキングで上位にランクインする種牡馬産駒が人気を集め、2歳戦の動きが市況にも表れた。そのようななかエピカリスの初年度産駒となるスターローズ2021（静内・(有)グランド牧場）とダンシングクイーン2021（門別・若林順一）の2頭がともに1,705万円で落札となるなど13頭が上場され11頭が落札された。

結果は、総売上額は20億9,165万円、平均価格は506万円、売却率は77.8%となり、昨年数字を落とした平均価格と売却率はV字回復となった。最高落札額となったのはウインアイスバーク2021（員外・アークフロンティア(株)）の2,200万円だった。

オータムセール／上場頭数減も好況維持。最高価格は1,760万円

10月17日（月）～18日（火）、北海道市場でオータムセールがおこなわれた。今年はセール取引馬がNARの重賞競走で活躍する場面も多く見られたことも影響してか、マジェスティックウォリアー産駒や、新興勢力として期待のかかるモー

ニン産駒などダート競馬中心の種牡馬産駒が多く人気を集めた。

結果は、総売上額は12億9,173万円、平均価格は392万円、売却率は77.2%となり、昨年比で上場頭数は減となりながらも総売上額が増となる活況だった。最高落札額はスプリングサンダー2021（静内・(有)グランド牧場）とプレシャスヴィガー2021（静内・(有)グランド牧場）の2頭が1,760万円で同額となった。

冒頭の通り、今年は過去最高を更新する165億円を超える売上を記録した。トレーニングセールから始まりオータムセールに至るまで、すべてのセールで前年を上回る売上を記録する快挙でもあった。

1年を古川組合長は「ただただ良かったな、と。セレクションセールを2日間にしたり、サマーセールとセプテンバーセールを同時申込にしたりと、去年と変えた部分もあったが、結果が出たので良かった。物理的に日程や馬房数は限りのあるものなので、サマーセールとセプテンバーセールを上場者の皆様に上手く振分けしてもらった結果かなと思う。成績的には100点だが、セリの方法や購買者、上場者に対してのサービスということを考えると運営面では80点行かないくらい。購買者や上場者にもっと満足してもらえるようなセリにしたい。」と振り返った。

【北海道市場 5年間の比較】

	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年	平成30年
平均価格	↗ 8,021,238	↗ 7,331,614	↘ 7,004,016	↓ 6,213,287	↓ 6,239,987
出場頭数	→ 2,629	↗ 2,629	↓ 2,362	↗ 2,591	↗ 2,527
売却頭数	↗ 2,059	↗ 1,983	↓ 1,825	↗ 1,901	↗ 1,799
売却率	↗ 78.32%	↓ 75.43%	↗ 77.27%	↗ 73.37%	↓ 71.19%
売上総額	↗ 16,515,730,000	↗ 14,538,590,000	↗ 12,782,330,000	↗ 11,811,458,000	↓ 11,225,736,000

※ 単位（円、頭）、価格は税込、矢印は前年対比



ひだか・ホース・フレンズ たより

ひだか・ホース・フレンズは、当組合が日高軽種馬振興対策推進協議会からの委託を請け、旧門別種馬場施設において、引退競走馬の利活用推進事業、軽種馬人材養成事業、馬産業の啓蒙普及事業を実施しております。この取り組みについては農水省・JRA・NRA・JBBAなどから視察を受けるなど、各関係機関からも関心を寄せて頂いております。2022年11月現在の運営状況についてお知らせいたします。

○ 飼養馬 7頭

- ・ ディープスカイ
- ・ メイショウサムソン
- ・ メイショウアイアン
- ・ 功労繁殖牝馬1頭
- ・ ハフリンガー3頭（うち1頭は10月より組合有ユニバーサルドナー馬として導入しました）

○ 指導員スタッフ 2名

○ 軽種馬人材養成事業の受け入れ状況

- ・ お仕事体験プログラム（2泊3日からの就業体験－給餌・馬房清掃・馬手入れ・集放牧などを体験）

昨年秋の募集開始から本年10月末までに22名の方にご参加頂きました。

性別：男性16名 / 女性6名

年齢：10代3名 / 20代7名 / 30代8名 / 40代4名

出身地：道内1名 / 東北1名 / 関東8名 / 中部5名 / 関西6名 / 四国1名

職業：学生7名 / 勤労者9名 / 求職者6名

滞在日数：平均3.95日

進路：プログラム参加を経て、馬業界への就職転職、移住などについて前向きに検討
そのうち、就農養成プログラム参加4名、別途馬関係の道へ進まれた方6名

参加動機：競馬が好き、馬が好き、乗馬などから馬の仕事・牧場の仕事に興味を持たれた方が多く、牧場への就職転職を志望されています。生産牧場への憧れや日高移住のため、牧場就職前の確認体験のため、騎乗員志望や養老馬牧場志望のため、牧場勤務を進路の選択肢として検討するため、など様々です。

- ・ 就農養成プログラム（1か月～長期の就農就職訓練）

本年1月から6名の方が参加され、騎乗員や生産牧場就職を目指し、馬取扱いや草刈り・軽作業などホース・フレンズで実践的な研修を経て、各牧場ご協力のもと実地体験や研修を経験されました。男性1名が浦河町の牧場へ女性1名が日高町の牧場へ就職との情報を受けています。

※ 研修生の受け入れについて

研修生の求職活動は研修生自らハローワークを通じて行うこととしています。

事務局では、牧場選択の参考資料となるよう、受入可能な牧場をリストアップし、研修生へ資料提供を行っています。11月現在、17件の組合員様にご登録頂いております。

研修生の実地研修や就職について受入を希望する方は、お手数ではございますが求人票情報（後日求人申込を行う予定の場合は労働条件通知書など）を各地域のJA営農担当者様を通じて情報提供をお願い致します。研修生のマッチングについて、皆様のご協力をお願いいたします。

○ ひだか・ホース・フレンズ

WEBサイト <https://www.uma-tomo.com/>

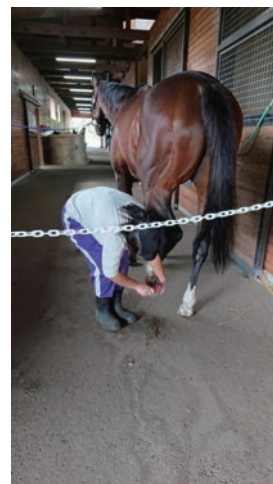


Instagram : [umatomo.hidaka](https://www.instagram.com/umatomo.hidaka)

Facebook : [UmaTomo.Hidaka](https://www.facebook.com/UmaTomo.Hidaka)

Twitter : [@UmaTomo_Hidaka](https://twitter.com/@UmaTomo_Hidaka)

詳しくはHBA業務部までお問い合わせ下さい。



助成金申請種類提出のお願い（レポジトリー・せり馴致預託料）

助成金申請に必要な各書類について、お手元に揃いましたら提出をお願いします。

レポジトリー

- 計画書・申請書
- 撮影料請求書・領収書の写し

せり馴致預託料

- 計画書・申請書
- 預託契約書の写し（捺印についてご確認ください。）
- 預託料請求書・領収書の写し

※ 11月～12月のお手続き分は翌年1月～2月の交付となる場合があります。交付までに時間を要しますので、スムーズな補助金交付が出来るよう、速やかな書類の提出にご協力をお願いいたします。

お問い合わせは 軽種馬農協 業務部（0146-42-1200）までお願いします。

胎便停滯について

荻伏診療所 和智 荘平

生まれてきた仔馬の胎便停滯に対し、みなさんはどう対処していますか？今回は仔馬の胎便停滯について書かせていただきます。

そもそも母馬のお腹の中で何も食べていなかった仔馬にどうして便があるのでしょうか。胎便は消化管の分泌物、嚥下された羊水、剥がれた腸管の細胞などから構成され(写真1)、総量としては体重の1%とされています。通常であれば生後数時間以内に排出が開始され、遅くとも48時間以内に全て排出されます。通常の便とは違い、食物繊維などは含まれていないので、粘土のように固かったり、粘り気があります。長時間同じ部位に停滯した場合には胎便により、ガスや液状物の通過障害が生じ、腸の鼓張、腹部膨満、疝痛症状を起こします。

胎便停滯の病因としては初乳摂取不全、発育不足や敗血症、新生子不適應症候群(NMS)などが挙げられます。牝よりも骨盤腔が長く狭いため牝に発症が多いことが知られています。

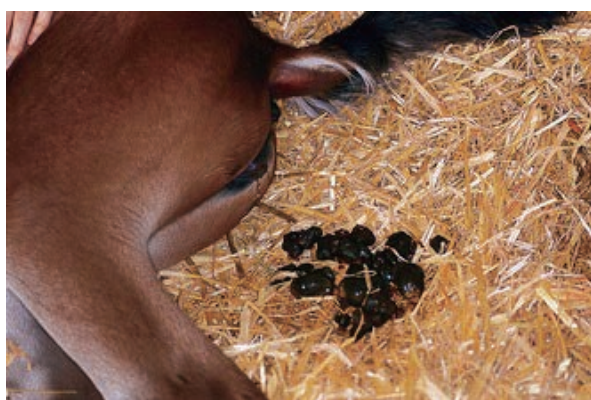


写真1: 生後排出された胎便
<https://veteriankey.com/perinatal-review/>より抜粋

胎便停滯を起こしている新生仔馬は胎便の排出を促すため背中を猫背のようにする背弯姿勢を頻繁にとるので気づかれることも多いと思います(写真2)。軽症例では不快感を示し、馬房内を歩き回ったり、落ち着きがなかったりします。哺乳回数が減少し、長時間横になることも認められます。重症例では、前掻き、転げ回る仕草や腹部膨満などの重度疝痛症状を示します。



写真2: 特徴的な背弯姿勢
<https://www.arssales.com/meconium.html>より抜粋

処置方法としては、初乳を十分に摂取させることです。初乳は緩下剤として、腸管の蠕動運動を促します。摂取後も、胎便が排出されない場合には市販のリン酸浣腸、石けん水、アセチルシステイン等による浣腸処置を実施します。

皆様の中には出生後、予防的に浣腸を実施される方もいらっしゃると思います。初乳摂取の前後どちらで行うか様々な意見がありますが、どちらでも差異はないと感じています。しかし、複数回浣腸処置を行うことは腸管穿孔を引き起こすリスクがありますので、排便されない、疝痛症状の改善が見られない時にはかかりつけの獣医師に相談されることをお勧めします。

生産牧場の皆様の一助になれば幸いです。